

猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画（答申案）

<概要版>

福島県生活環境部水・大気環境課

1 計画改定の経緯

東日本大震災後の情勢を踏まえ、見直す必要性が生じたため、計画の見直しを行うこととしました。

2 目標年度 平成32年度

3 計画の期間 8年間（平成25年度～平成32年度）

4 計画の位置づけ

上位計画である本県における水環境保全の基本的方向性を示した「福島県水環境保全基本計画」を踏まえ、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼の水環境保全対策を総合的かつ計画的に推進していくものです。

また、福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例に基づく、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼流域の水環境の保全の推進に関する基本的な計画として位置づけられています。

5 主な改正点

- 従来の施策に緊急施策として「放射性物質による環境汚染からの回復」を追加
- 猪苗代湖の水質日本一の復活を目指し、新たに平成28年度にCODの「中間目標値」を設定
- 新たな指標として「大腸菌群数」や「水生植物回収量」等を追加
なお、これまでの取組状況や東日本大震災後の情勢を踏まえた現行計画の施策及び数値目標の時点修正を行った。

- 従来の施策に緊急施策として「放射性物質による環境汚染からの回復」を追加
(19ページ)

第4章 目標達成のための総合的な施策

○施策の体系

さらに平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、放射性物質による環境汚染への影響は計りしれないことから、放射性物質からの環境回復を「緊急施策」として新たに追加しました。

(21ページ)

1 緊急施策

放射性物質による環境汚染からの回復

ア 現状と課題

平成23年3月の原子力災害において放出された大量の放射性物質の拡散により、猪苗代湖の水を飲料水や農業用水として利用している周辺住民にとって、水質の安全性への不安が続いています。

また、福島県内屈指の観光地である猪苗代湖及び裏磐梯周辺における来客数の多い代表的な施設等においては、来訪者数が半数以下に激減するなど、その影響は深刻です。

(以下、省略)

(22ページ)

イ 施策の内容

〔水環境保全活動における安全の確保と情報の発信〕

- ヨシ刈りや漂着した水生植物の回収、清掃活動等の水環境保全活動においては、活動場所の環境放射線やヨシ等の放射性物質の測定を実施し、ホームページや広報誌等を利用した情報発信を行い、安全・安心を確保し水環境保全活動の推進を図ります。
- 調査研究の成果を広く発信する場を設け、水環境を守る活動を再構築し、県内外に活動の裾野を広げていきます。

〔水質及び環境放射線等のモニタリング並びに及び調査・研究〕

- 水質のモニタリングについては、猪苗代湖や裏磐梯湖沼の水質モニタリングを継続して実施し、その結果をホームページや広報誌等により迅速かつ正確に発信することにより安全・安心を確保します。
- 環境放射線のモニタリングについては、湖水浴場や流域周辺観光地等の環境放射線モニタリングを実施し、ホームページや広報誌等により迅速かつ正確な情報の発信を行い、安全・安心の確保を図ります。
- 環境動態調査については、河川、湖内流入に至るまでの放射性物質の移動・挙動に関する調査を実施し、放射性物質の湖底への蓄積や水中への拡散について実態を把握します。
また、環境中の放射性物質を低減させていくための効果的な除染方法について検討していきます。
調査によって得られた成果については、県、国、市町村、各種活動団体などで共有し、環境回復に活用させていくことにより、県民の安全・安心につなげていきます。
- 有機性資源物の放射性物質の測定及び利用の促進については、下水道処理施設等で発生する汚泥、刈り取ったヨシ等の水生植物及びたい肥中に含まれる放射性物質濃度を測定することにより、用途に応じた許容値※以下であることを確認し、安全・安心の確保をした上で資源化や利用の促進を図ります。

- 猪苗代湖の水質日本一を目指し、平成28年度に「中間目標値」を掲げ、新たな指標として「大腸菌群数」や水質汚濁の原因となる「水生植物回収量」等を追加

(15ページ)

第3章 水環境保全目標

また、水質保全目標、水辺地の環境目標及び流域の水循環の形成目標の3つの視点から、水環境保全目標を設定し、併せて、大腸菌群数超過対策を講じ、「全国湖沼水質ランキング」への復帰を目指します。

また、COD負荷低減対策を講じ、目標年度における「水質日本一」への復活を目指します。

そのため、猪苗代湖の水質については平成28年度に中間目標値を掲げ、施策の進捗状況を確認することとします。

猪苗代湖（湖心）におけるCOD・大腸菌群数の推移

(COD単位:mg/L、大腸菌群数単位:MPN/100mL)

年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
COD(75%値)	0.6	0.5	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	1.0	1.1	1.1
大腸菌群数最大値	4.5	2	4.5	790	2200	1300	490	2400	7900	7900
ランキング順位	1位	1位	1位	1位	—	—	2位	—	—	—

※「—」は大腸菌群数が環境基準(1000)を超えているため、ランキングの評価対象外であることを示す。

(16ページ)

(1)猪苗代湖

○湖心における水質目標値

湖心の現況水質を改善又は維持することを水質保全目標とします。

なお、平成28年度のCODの中間目標値は0.9mg/Lとします。

項目	現況値	目標値
	平成23年度	平成32年度
COD(mg/L)	1.1	0.5以下
全窒素(mg/L)	0.23	0.2以下
全りん(mg/L)	0.003未満	0.003未満
大腸菌群数(MPN/100ml)	7,900	1,000以下

○湖岸周辺における水質目標値

湖岸周辺の現況水質を改善又は維持することを水質保全目標とします。

区分	項目	現況値(mg/L)	目標値(mg/L)
		平成23年度	平成32年度
北岸部	COD	2.6	1.0以下
	全窒素	0.38	0.20以下
	全りん	0.028	0.005以下
南岸部	COD	1.4	1.0以下
	全窒素	0.25	0.20以下
	全りん	0.005	0.005以下

